

を導入していますが、平成20年度も限られた財源の中で一般行政経費や政策的経費を可能な限り圧縮を図るべく、予算の編成に努めたところです。

その結果、平成20年度のうるま市一般会計予算は、417億4,825万2千円となり、前年度に比べ2.5%の減少となっています。

また、各特別会計予算は、国民健康保険が154億3,098万円、老人保健が7億3,413万8千円、介護保険が63億2,445万3千円、後期高齢者医療が7億1,175万8千円、公共下水道事業が33億9,49万8千円、農業集落排水事業が1,764万5千円で、公営企業の水道事業会計予算は、35億8,286万9千円となっています。

従いまして、一般会計、特別会計及び水道事業会計を合わせた予算規模は、718億5,959万3千円となります。

次に、平成20年度における主要施策の概要について、総合計画の体系を基本に説明いたします。

## 1、人と自然にやさしい 基盤と環境を育てます。

**本** 市の豊かな自然環境を保全することともに、地域の個性を生かしたまちづくりを推進することは重要です。

平成20年度も安全で快適な市民生活を持続的に確保するため、都市基盤の整備や適切な維持管理を進めます。

「うるま市国土利用計画」については、平成20年度中の策定に向け引き続き作業を進めます。

離島・辺地地域に指定されています津堅島の振興については、「津堅辺地総合整備計画」に基づき、道路や高齢者福祉施設、学校給食施設の整備を推進します。

地域情報化については、教育、行政、防災等の高度化を図るため、学校や図書館、公民館、本庁・支所、出先機関等を高速で接続する地域公共ネットワークを整備し、議会中継や行政情報の提供、学校におけるICT学習環境の充実を推進します。

安慶名土地区画整理事業については、建物移転補償の進捗に鋭意努め、幹線となる街路を中心に工事を実施します。

また、事業施行中の土地区画整理組合に対し、引き続き技術的指導等の支援を行い、早期完了ができるように取り組みます。

コミュニティバス事業については、当面は庁舎間連絡バスの試験的な運行を進めます。

市道整備については、勝連252号線、石川34号線ほか7路線の継続事業と塩屋中央線ほか2路線の新規事業など主要道路網や生活道路の整備を推進します。

排水路の整備については、継続事業の栄野比後原排水路及び屋敷名仲田排水路の整備を進めます。

中城湾港新港地区、国道329号、県道36号線や天願川改修などの国・県継続事業については、引き続き事業の推進に協力するとともに、未整備事業地区についても、早期整備に向けて要請を行います。

道路の維持管理については、円滑な道路交通の維持のために路面舗装、道路付帯構造物などの補修に努めます。河川や排水路について

は、堆積土砂の除去、危険箇所点検等を行い、円滑な排水機能の確保に努めます。

また、各自治会をはじめ地域住民等との協働を図りながら、快適な道路・河川環境の維持に鋭意努力します。

公園事業については、具志川運動公園、喜屋武マープ公園、昆布公園、伊波公園等の公園整備を継続して実施します。

また、今後の計画的な公園・緑地配置のための「緑の基本計画」策定に取り組みます。

街路事業については、魅力ある都市基盤づくりを目指し、石川西



いひチャー川（石川川）でボート遊びをする親子